



Solar Link
ZERO

【重要】シャープ太陽光発電・蓄電池システム 施工時の注意事項および取扱補足事項

パワーコンディショナの接続台数

シャープ太陽光発電・蓄電池システムでの Solar Link ZERO（以下、ZERO）とマルチエネルギーモニタ（以下、電力モニタ）は、それぞれパワーコンディショナや蓄電池の最大接続台数が異なります。詳細は下表の通りです。

◆ZERO

機器名	最大接続台数
パワーコンディショナ	21 台
蓄電池	21 台※ ¹
電力モニタ	10 台

※¹）ZERO の機能としては最大 21 台まで接続できますが、電力モニタの最大接続台数により蓄電池は 20 台までしか接続できません。

ZERO にパワーコンディショナを 21 台接続するためには、電力モニタが最低でも 7 台必要です。

この場合、ZERO に電力モニタが 7 台接続され、電力モニタ 1 台に対してパワーコンディショナが 3 台接続される構成になります。

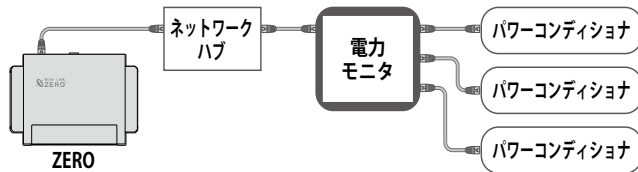
◆電力モニタ

機器名	最大接続台数
パワーコンディショナ	3 台
蓄電池	2 台

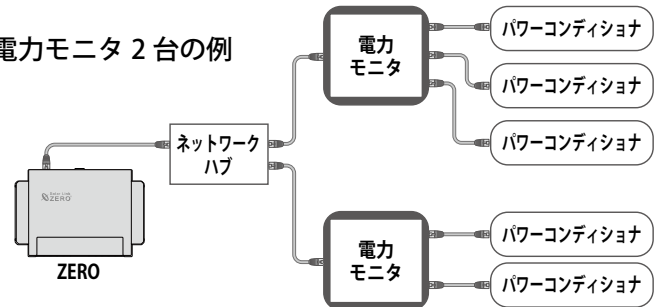
電力モニタの接続

ZERO と電力モニタを接続するためにネットワークハブと LAN ケーブルが必要です。接続は下図を参考に行ってください。

◆電力モニタ 1 台の例



◆電力モニタ 2 台の例



電力モニタの IP アドレス確認方法（必要時に対応）

※お申込み内容によっては、付属の USB メモリがない場合があります。

電力モニタの IP アドレスが別紙『出荷時設定表』と一致していることをご確認ください。ZERO に設定されている電力モニタの IP アドレスは以下の操作で確認できます。操作の前に USB メモリ内の全てをコピーし、バックアップをお取りください。

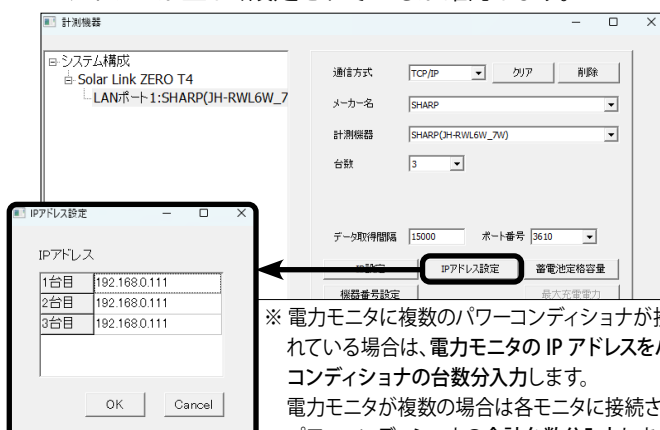
1. 付属の USB メモリを Windows PC に接続し、USB メモリ内の **conf (.exe)** をダブルクリックして設定ツールを開きます。
2. 「計測関係設定」メニューの「計測機器」をクリックします。
3. システム構成の「LAN ポート：SHARP (JH-RWL6W_7W)」を選択してから「IP アドレス設定」をクリックし、接続台数分の IP アドレスが正しく設定されているか確認します。
4. 間違っている場合は IP アドレスを修正し「OK」をクリックします。
5. 計測項目の変更や計測データの削除を確認する画面が表示されますが、全て「OK」をクリックして画面を閉じます。
6. Windows PC から USB メモリを取り外して ZERO に挿入し、ZERO を再起動します（『Solar Link ZERO 施工説明書』参照）。
7. LED 表示から通信が成功しているかどうか確認します。（PW LED（緑）が点灯、ST2 LED（緑）が点滅）
8. USB メモリを取り外して保管します。

※設定変更後は再度 USB メモリ内の全てをコピーしバックアップをお取りください。

※本操作では、電力モニタ側の IP アドレスの設定を行うことはできません。電力モニタの IP アドレス設定は、電力モニタの取扱説明書をご確認の上、電力モニタ側で行ってください。



3. システム構成の「LAN ポート：SHARP (JH-RWL6W_7W)」を選択してから「IP アドレス設定」をクリックし、接続台数分の IP アドレスが正しく設定されているか確認します。



※電力モニタに複数のパワーコンディショナが接続されている場合は、電力モニタの IP アドレスをパワーコンディショナの台数分入力します。電力モニタが複数の場合は各モニタに接続されたパワーコンディショナの合計台数分入力します。



電力モニタ側で以下の項目を必ず設定してください。

- ・IP アドレス
- ・ゲートウェイ
- ・ネットマスク
- ・DNS

※電力モニタが複数台接続されている場合は、全てのモニタの設定が必要です。



Solar Link
ZERO

【重要】シャープ太陽光発電・蓄電池システム 施工時の注意事項および取扱補足事項

※ ZERO の動作や Web アプリケーションについては『Solar Link ZERO 取扱説明書』をご参照ください。

電力モニタの計測状況の確認

計測値は Web アプリケーションの計測データ画面で確認ができます。

計測データ画面では、電力モニタに接続するパワーコンディショナが蓄電池付きではない場合も全て BATTERY と表示され、その計測値の参照元は交流電力です。

また、計測データは CSV データとしてダウンロードすることができます。

複数の電力モニタにパワーコンディショナが分かれて接続されている場合も、1 系統での計測として扱われ、CSV データもこれに沿った形で表示されます。

電力モニタの故障情報の確認

電力モニタで発生した故障情報は Web アプリケーションの詳細故障画面で確認ができます。

異常名称欄には電力モニタのエラーコードが表示されます（一部の項目を除き「発生」状態のみ保存）。

エラーコードの詳細はシャープ太陽光発電・蓄電池システムの取扱説明書をご参照ください。また、シャープ取扱説明書に記載がないエラーコードが表示されている場合は、シャープ取扱説明書の裏表紙に記載されている問い合わせ先までお問い合わせください。

電力モニタとの通信の確認（トラブルシューティング）

●発電電力が「0.0」になっている ⇒ 電力モニタとの通信は成功している状態です。以下の点をご確認ください。

1. 発電していますか？	曇りなど天気が悪い日やパネルに雪が積もっていると発電しない場合があります。パワーコンディショナで発電状況をご確認ください。
--------------	---

●発電電力が「--」になっている ⇒ 電力モニタと通信できていない状態です。以下の 3 点をご確認ください。

1. 電力モニタの電源は投入されていますか？	電力モニタの電源が入っていないと、計測値が表示されません。
2. ケーブルが断線していませんか？	電力モニタと ZERO 間のケーブルが途中で断線していないかご確認ください。
3. 動作中に電源プラグを抜きましたか？	一度、ZERO の再起動をお試しください。 再起動しても「--」表示の場合は、『Solar Link ZERO 取扱説明書』の裏表紙の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

※動作中に電源断する（電源プラグを抜く）と強制終了となり計測データが破損する恐れがあります。

ZERO を停止する場合は ZERO 左側面にあるタクトスイッチを 6 秒以上長押しした後離し、正常に停止させてください。



Laplace System

株式会社 ラプラス・システム

〒612-8083

京都市伏見区京町 1-245

TEL:075-634-8073 / FAX:075-644-4832